

神戸市魚崎町防災福祉コミュニティ様

脱炭素と防災への対応強化に向けて、ポータブル蓄電池「SuperBaseV」を国内の自治体で初導入

～発電機の代替品となる次世代型ポータブル蓄電池に掛かる期待～



※以下本文敬称略

神戸市魚崎町防災福祉コミュニティは、脱炭素と防災への対応強化に向けて、株式会社クローバー・テクノロジーズが提供する持ち運び可能な電源(以下、ポータブル蓄電池)「SuperBaseV」を国内の自治体で初導入した。(※ここでいう自治体とは、地域団体を指す。)

「SuperBaseV」は 200V 3200W での出力が可能であり、従来まで国内で販売されている他のポータブル蓄電池よりも一線を画したパワフルな性能が特徴。

メーカーはゼンデュア社。

米国・シリコンバレーに本社を置き、最新バッテリー技術である「半固体電池」を業界で初めて採用したポータブル蓄電池も販売している。黎明期から高出力のポータブル蓄電池に取り組み、高い技術力を評価されているメーカーである。

今回は日本法人のゼンデュア・ジャパン株式会社より委託を受けて、「SuperBaseV」の日本総代理店を手掛ける株式会社クローバー・テクノロジーズから販売、導入に至った。

神戸市魚崎町防災福祉コミュニティは災害対策と脱炭素社会への対応に期待を込めて、SuperBaseV4600 と、可搬型の太陽光パネル、防塵カバーを導入した。(写真参照)



蓄電池を運んでいる様子。スーツケースのように取っ手を使い簡単に移動できる。車輪にはアシスト機能もついており移動は更に楽になる

【SuperBaseV 導入の背景】

・神戸市が 2050 年までにカーボンニュートラルを達成する目的で交付する補助金「KOBE ゼロカーボン支援補助金」があり、神戸市魚崎町防災福祉コミュニティが取り組む「脱炭素」と「防災」の両方において活用できるということで申請、採択に至った。

「KOBE ゼロカーボン支援補助金」概要

https://www.city.kobe.lg.jp/a36643/zero_carbon_aid.html

採択結果（「一般枠」で採択）

<https://www.city.kobe.lg.jp/a36643/728632112354.html>

【SuperBaseV 導入の決め手】

・定格出力 100V/200V 3200W の パワフル性能

→ 定格出力 900W のレスキューキッチン(炊飯機器)3 台が SuperBaseV4600 1 台で同時に稼働でき、約 1.5 時間で 1200 食分の食事の準備ができること、スマートフォンは最低でも 250 台以上をフル充電できる等、情報収集機器の電源確保としても幅広く使用できる。(写真参照)

(<http://www.shinseicorp.co.jp/rks.html>)

・長距離移動も安心な電動アシスト機能

→SuperBaseV の後輪には電動アシスト機能がついており、電動自転車のように軽い力で蓄電池を移動させることができる。

地域の高齢化が進む中、この機能は災害時にユーザーの負担を軽減できると期待される。



レスキューキッチン使用時の様子。

電気/灯油を燃料とし、一度に大量の調理ができる野外用の調理器具で災害対策としてコミュニティに常備している。

【SuperBaseV 導入によって期待すること】

・災害時における使用

防災対策においては、初動対応での電源確保として活用し、その他、外部給電・神戸モデルでの利用や、音や振動、ガスを発する発電機の使用が難しい屋根下において、レスキューキッチン(炊飯機器)の電源として使用する。

(<https://www.city.kobe.lg.jp/a66958/kurashi/recycle/kankyohozen/noise/jisedaicar/kobemodel.html>)

・災害時以外での使用

地域の夏祭りのイベント等で使用し、地域住民に取扱いに慣れていただき、同時に地域行事の脱炭素化を進める。また防災訓練においては、認知度を高め、日頃から防災意識の浸透を図る。

・地域の「脱炭素化」に向けた啓発

子どもが参加する夏祭りのイベント等で、太陽光パネルから蓄電池に電気を蓄え、消費電力が大きい綿菓子機器や堤灯照明へ供給。その様子を間近で見ってもらうことで、子どもたちに再生可能エネルギーについて興味を持ち考えるきっかけを作る。



【魚崎町防災福祉コミュニティのコメント】

(魚崎町防災福祉コミュニティ 清原さま談)

「従来より発電機を災害対策用に準備はしていますが、地域の避難先である小学校では液体燃料の保管ができないという矛盾がありました。

発電機を利用するにはガソリンが必要ですので、災害時は外部から燃料を持ってこないといけません。

この課題を解決するため、つまり初動対応をスピーディに行えるように、液体燃料の不要な電源を一つでも増やしておくことが喫緊の課題でした。

そこで、発電機に代わるパワフルなポータブル蓄電池を探して色々見ましたが、やはり我々の条件を満たすものが SuperBaseV しかありませんでした。

また、脱炭素の面においても、個々の小さな意識の変化がカーボンニュートラル達成には必要だと思いますので、地域イベント等で再生可能エネルギーを身近に感じる機会から地域住民の啓発に繋がることを期待しています。

防災コミュニティの若い世代も育てていかないといけませんので、カッコいいデザインの最新機器が次の世代への橋渡しのツールとなってくれれば嬉しいです。」

〈製品詳細：SuperBaseV とは〉

SuperBase V は大容量 6.4kWh/4.6kWh の電力を蓄える事ができる革新的なポータブル蓄電池です。

100V および 200V の AC ポートや様々な DC 電源ポートを搭載しており、これまで電力を利用できなかった場所（アウトドア/イベント/ 屋外活動など）で電力を利用できることはもちろん、ソーラーパネルからの充電に対応し再生可能エネルギーによるオフグリッドの環境も実現できる製品です。

また、2023 年後半発売予定のオプション製品ホームパネルを活用することで建物分電盤に直接接続でき、停電時には建物内の配線へ電気供給ができます。Iot による制御ができることから、日常の電気を節約してコストを下げ活用方法も視野に入れています。

SuperBase V は国際的な権威のあるデザイン賞を多数受賞しており、従来の蓄電池のイメージを変革し、よりプロアクティブに電力と皆様のライフスタイルをコントロールするパワーを提供します。

〈株式会社クローバー・テクノロジーズについて〉

株式会社クローバー・テクノロジーズは 2016 年に設立。

脱炭素による循環型社会構築コンサル業や、小売電気事業・太陽光発電システム（販売、設計、調達、施工、連系）などの総合エネルギー事業を展開しています。

2023 年より、ゼンデュア社のポータブル蓄電池 SuperBase V の日本における総代理店事業を開始しました。

総合エネルギー事業を展開する弊社は、蓄電池販売だけでなく、PV との組み合わせやエネルギーマネジメントも含めた SuperBaseV の新たな活用方法の開拓も託されています。

コーポレートホームページ：<https://428tech.jp/>

〈ゼンデュア社/ゼンデュア・ジャパン株式会社について〉

2017 年に設立されたゼンデュア社は、米国シリコンバレー、中国グレーターベイエリア、日本、ドイツのテクノロジーハブに位置する急成長中のエネルギーテック分野のスタートアップ企業。

理念とする ZENDURE Way(ゼンデュア ウェイ)は、持続可能（サステナブル）な未来の実現に拍車をかけるため、世界中のご家庭に信頼性が高く安価なクリーンエネルギーを届けることをミッションとして、コンシューマー向け電力製品に常に革新を提供してきました。今では世界 100 カ国以上でゼンデュア製品が販売されており、ゼンデュア・ジャパン株式会社はその日本法人として国内での販売・サポートを提供しています。

コーポレートホームページ：<https://zendure.co.jp/>

本件のお問い合わせ先

株式会社クローバー・テクノロジーズ（旧 四つ葉電力株式会社）

※2022年9月8日より社名を変更いたしました。

「四つ葉電力」は電気事業のブランド名となります。

マーケティング事業部

プランナーチーム 板倉 海

〒550-0013 大阪市西区新町 1-5-7 四ツ橋ビルディング 6階

TEL : 06-4393-8301

FAX : 06-4393-8302

E-mail : e-mail : k-itakura@clover-power.co.jp

HP : <https://428tech.jp/>
